



2025年10月14日

各位

会社名 株式会社イズミ
代表者名 代表取締役社長 町田 繁樹
(コード: 8273、東証プライム)
問合せ先 執行役員経営企画部長 平 公成
(TEL. 082-264-3211)

通期業績予想並びに第二次中期経営計画の数値目標修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年4月14日に公表した2026年2月期(2025年3月1日～2026年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 通期業績予想について

(1) 2026年2月期の連結業績予想数値の修正(2025年3月1日～2026年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	590,100	30,700	30,400	18,300	255.75
今回修正予想(B)	570,300	26,400	26,100	15,200	215.20
増減額(B-A)	△19,800	△4,300	△4,300	△3,100	—
増減率(%)	△3.4	△14.0	△14.1	△16.9	—
(参考)前期実績 (2025年2月期)	524,142	25,735	26,009	12,304	171.98

(注) 2026年2月中間期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定をおこなっており、2025年2月中間期及び通期の関連する数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 2026年2月期の個別業績予想数値の修正(2025年3月1日～2026年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	394,900	23,500	23,100	14,500	202.64
今回修正予想(B)	380,900	20,200	19,800	12,300	174.14
増減額(B-A)	△14,000	△3,300	△3,300	△2,200	—
増減率(%)	△3.5	△14.0	△14.3	△15.2	—
(参考)前期実績 (2025年2月期)	372,839	21,267	21,420	9,635	134.68

(3) 修正の理由

通期の業績予想につきまして、インフレ環境の長期化に伴うコスト上昇圧力が利益を大きく圧迫しており、原材料費の高騰に加え、電力料金の上昇、人件費のベースアップ、物流費の増加など広範なコスト項目において前年を上回る支出が発生しております。また、消費者の購買行動の変化も売上に影響を及ぼしており、物価上昇に対して実質所得の伸びが追いつかない状況の中、生活防衛意識の高まりによる節約志向が顕著となっており客数及び客単価の伸び悩みが見られました。

今後は、インフレ環境下におけるコストマネジメントの徹底と、本年9月から販売を開始した当社グループ初の統一プライベートブランド（PB）商品等、消費者ニーズに即した商品戦略の強化を通じて、業績の回復と企業価値の向上に努めてまいります。

これらより、第2四半期（中間期）の業績動向を踏まえ、その他の現時点において入手可能な情報や予測等も勘案し、業績予想を修正することといたしました。

2. 第二次中期経営計画の数値目標修正について

上記の通期連結業績予想の修正に伴い、「第二次中期経営計画（2022年2月期から2026年2月期）」における最終年度の数値目標を以下のとおり修正いたします。なお、最終年度の利益目標数値については修正いたしますが、本中期経営計画における基本方針および戦略に大きな変更はございません。

	前回修正計画 ¹	今回修正計画	計画との差
営業収益 (収益認識基準適用前 ²)	5,901 億円 (8,748 億円)	5,703 億円 (8,521 億円)	△198 億円 (△227 億円)
営業利益	307 億円	264 億円	△43 億円
ROA（総資産経常利益率）	5.3%	4.5%	△0.8%
ROIC ³	4.8%	4.2%	△0.6%
ROE	6.4%	5.3%	△1.1%

(注) なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上

¹ 2025年4月14日公表「第二次中期経営計画の見直しに関するお知らせ」

² 収益認識に関する会計基準（企業会計基準第29号）

³ ROIC = 税引き後営業利益 ÷ (有利子負債 + 自己資本 + 非支配株主持分)